

■SAT 法の勉強会や審査テープ取りや支援において実施する場合は、全てあらかじめ自閉スペクトラム症 AQ 尺度（添付資料①）を用いて得点を確認し、下記の方法で発見すべき「きょうだいキメラ数」を推測しておく必要がある。それによって本人が情緒安定化するまでの目標がもてる。

■SAT法の参加者は、全て予め自閉スペクトラム症 AQ尺度を用いて得点を確認し、下記の方法で発見すべき「きょうだいキメラ数」（基準数）を自覚する！

■きょうだいキメライメージ数だけを基準とする目安

AQ点数は、ストレスを生み出すキメラの量を示す

- ～10点までは～15人前後
- 11～19点まではAQ得点～30人前後
- 20～29点では、AQ得点+20～30人
- 30点以上では、60人以上～140人  
(=MAX2015年3月現在)

但し、感情認知困難度が高い(10点以上)ひとは、AQ尺度得点によって想定した以上のきょうだいキメラ数が必要な場合がある。

\*AQ得点が30点を超える場合、SAT療法センターを利用して代理顔表象数の基準数の確保で情緒安定をしよう！

■自閉スペクトラム症 AQ 尺度得点が 30 点以上の人は、外見大丈夫にみえても、本来的に情緒不安定であり、きょうだいキメラ数だけで 60 人以上～140 人 (=MAX2015年3月時点) を身体内に宿しており、勉強会や審査テープ取りで簡略版三世代法や新旧通常版三世代法や進化期・祖先期・幼少期再解決法や行動変容支援法や行動目標化支援法を使用する際、クライアント役としては望ましくない。が、セラピスト役として簡略版三世代法や新旧通常版三世代法や進化期・祖先期・幼少期再解決法や行動変容支援法や行動目標化支援法を実施するのは、(セミナーでそれらを学んだ人ならば) **問題はない**。

■自閉スペクトラム症 AQ 尺度得点が 20 点～29 点の人の場合は、上級・特級ヘルスカウンセラー資格をもつ SV 役の人に見守られるなど、クライアント役として慎重にペア演習がすすめられる必要がある。情緒不安定な状態を克服するために上記の表に基づく予定数のきょうだいキメラ数の代理顔表象を簡略版三世代法や新通常版三世代法で自ら**速やかに**見出すようにすすめる (少なくともまず 80% の数を見出し、それから速やかに 100% に達し、あるがまま法で 100% に達していることを確認するとよい)。

■自閉スペクトラム症 AQ 尺度得点が 30 点以上の人が、クライアント役として、ソウルに繋げる SAT リスニング法 (添付資料②) で傾聴演習したり、また代理顔表象による問題解決コーチング法 (添付資料③) で問題解決支援するのは問題ない。問題解決法で見出した代理顔表象を代理顔表象からの身体部位と性別・続柄の明確化法 (添付資料④) を用いてきょうだいキメラかどうか確認し、きょうだいキメラの基準数に含めることができる。

■自閉スペクトラム症 AQ 尺度得点が 30 点以上の人が、とりあえずの情緒安定化のために、上級・特級ヘルスカウンセラー資格をもつ SV 役の人による宇宙素粒子再誕生法 (添付資料⑤) をうけることは望ましいことである。

■自閉スペクトラム症 AQ 尺度得点が 30 点以上の人が、本格的な情緒安定化をするには、SAT 療法センターで、「集中 SAT セラピー」を受け (例えば AQ 尺度得点が 40 点未満なら 2 日間連続の集中セラピーを受ける) 全てのキメラの代理顔表象を見出し、頻回刺激することを勧める。それによって情緒が安定し、前向きになり、幸せになることができる。